★勝敗どつちでショー★

勝敗予想をして勝利チームスタメン 11 名のサイン入り色紙をもらおう!

【応募方法】

ゲートに設置してある投票箱にどちらか勝つと予想する大学の方の箱に投票チケットの---&---&---で切り取って**上**の投 票用紙を入れてください。--------より下はお客様控えをなりますので、お帰りまで控えをなくさないよう、ご注意く

応募受付は該当試合の後半キックオフまでとなっております。

【発表方法】

当選結果は試合終了後、場内アナウンスとゲート掲示にてお知らせ致します。ご当選された方は**お客様控え**をご持参の上 ゲートまでお越しください。

★決勝戦当日イベント★

★] クラブ内定者サイン会

来シーズンから」リーグでの活躍に期待のかかる選手達に直接触 れ合える最初で最後の機会となります。 ※参加選手は随時決まり次第発表致します。お楽しみに!

[開催場所]西マラソンゲート付近

[開催時間] 表彰式終了 30 分後 ~ 1 時間(予定)

※] クラブ内定者サイン会は決勝終了後に行われます。試合後はす ぐにお帰りにならず、西マラソンゲート付近までおいでください。

★JUFA プレミアムプレゼント抽選会★

例年ご用意させて頂いている大卒1リーガーサイン入りユニフォ ・ - 一ムやグッズを始め、インカレ決勝当日しか手に入らないプレミア ムプレゼントの数々を是非会場でゲットしてください! 「プレゼント詳細]大卒]リーガーサイン入りユニフォーム・練習着、 ミカサレジャーバック等。

・ 「開催場所]メインスタンドコンコース

---[開催時間] 10:00 ~ プレゼントが無くなり次第終了

★大学説明ブース★

関東リーグ所属の大学による説明会ブース。大学で サッカーを続けたい高校生は必見!その大学の特色を ! 直接聞いてみよう!

[開催場所]バックスタンドコンコース [開催時間] 10:00 ~ 11:30

※出展大学は当連盟 HP をご覧ください

★他学連ブース★

日本学生陸上競技連合と日本フライングディスク協会のブースを出展しま す。陸上ブースではハンマーや砲丸など実際に競技で使用する用具やウサイ ン・ボルトの等身大パネルを展示します。また、フライングディスク体験ブー - スでは実際にフライングディスクを投げることができます。サッカーとは異な る競技の魅力を実際に見て、体験して、感じ取ってください!! · 「開催場所]メインスタンド入場口付近

- 「開催時間] 10:00 ~ 閉門まで

★オープニングショー『メジャレッツ』、ハーフタイムショー『SHOCKERS』★

今年のオープニングショーは、慶應義塾大学慶援指導部チアリーディング部『メジャレッツ』ハーフタイムショーは早稲田大学男子チ アリーディングチーム『SHOCKERS』、2つの学生団体がインカレ決勝戦をより一層盛り上げます! [開催場所]ピッチ上

[開催時間]前座 11:20 ~ 11:29 (予定) 、 ハーフタイムショー 12:45 ~ 13:00 (予定) ※開催時間は変更の可能性があります。

今後詳細が決まったものにつきましては下記の連盟公式 SNS アカウントにてお知らせいたします。

★大会公式プログラム★

各会場プログラム販売所にて、大会公式プログラムを1冊1,000円で販売中! 巻頭「浦和レッズ 宇賀神友弥×武藤雄樹」の流経大出身選手の特別対談は必見!!

☆ユニフォーム型ストラップ☆

出場全大学のユニフォーム型ストラップを販売いたします!1個500円。 64 回大会にちなんで、64th All Japan Championship の特別仕様。観戦の記念に是非。

★I PLAY FOR PHOTO BOOK★

インカレ出場全大学の選手・スタッフの想い「I PLAY FOR…」が詰まった大会公式グッズ! 1冊500円。冊数限定なのでお買い求めはお早めに!!

◇(一財)全日本大学サッカー連盟公式 SNS◇

全会場・全試合リアルタイム速報は Twitter:@JUFA_soccer

Facebook: 全日本大学サッカー連盟 Instagram:@jufa japan

アパマンショップ Presents 平成 27 年度第 64 回全日本大学サッカー選手権大会

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

NO.3

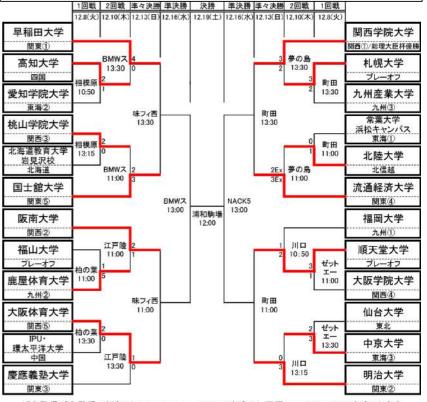
発行:一般財団法人 全日本大学サッカー連盟

◆2 回戦◆ 12 月 10 日(木) 試合結果

◇Shonan BMW スタジアム平塚 [9] 桃山大 2-**3 国士大** 【10】 早大 4-0 高知大

◇江戸川区陸上競技場 [11] **阪南大 2**-1 鹿屋大 【12】 大体大 1-0 慶大

◇川口市青木町公園総合運動場 [13] 順大 2-1 福岡大 【14】明大 **3**-0 中京大 ◇江東区夢の島競技場 [15] **流経大 3**-2 北陸大 【16】 札大 2-3 関学大



浦和駒場:浦和駒場スタジアム/BMWス:Shonan BMW スタジアム 平塚/NACK5:NACK5スタジアム大宮 味フィ西:味の素フィールド西が丘/町田:町田市立陸上競技場/江戸陸:江戸川区陸上競技場 夢の島:江東区夢の島競技場/川口:川口市青木町公園総合運動場/相模原:相模原ギオンスタジアム 柏の葉:千葉県立柏の葉公園総合競技場/ゼットエー:ゼットエーオリプリスタジアム

阪南大学 vs 大阪体育大学

阪南大と鹿屋体育大の一戦は、序盤から鹿屋大がサイドを攻略。 鹿屋大は 10 分に MF 福森健太 (3 年) が上げた右クロスを、MF 樋口雄太(1年)が頭で押し込み先制に成功した。しかし「失点の | 時間が早かったので、焦りはなかった」と、MF 松下佳貴(4 年) が口にしたように、阪南大は落ち着いたボール回しで試合の主導権 を奪い、反撃を開始。41 分には MF 重廣卓也 (2年) が DF 裏に 浮き球を配給すると、抜け出した FW 前田央樹 (3年) が右足で合 わせて、試合は振り出しに。81 分にも DF 甲斐健太郎 (3年) の ロングスローを前田が頭で合わせて勝負あり。2-1 で鹿屋大を退 け、準々決勝に駒を進めた。

大阪体育大と慶應義塾大の対戦は、慶大が持ち味のパス回しを封 11 久保田 印してロングボールを展開したが、大体大としては「蹴ってくれて 助かった」(坂本康博総監督)。DF 菊地流帆(1年)を中心に跳ね 返して攻撃に転じたものの、1点が奪えず試合を折り返した。しか し53分にMF安田圭佑(4年)が右サイドからクロスを展開。ゴ

4 菊地 ール前の FW 澤上竜二 (4年) が頭で落とすと、最後は MF 久保 大体大 田駿斗(4年)が押し込み、大体大が均衡を崩して逃げ切った。 この結果、4強入りをかけたカードは互いを良く知る同士の組み合わせに。大体大・坂本総監督が「14

番(松下)をいかに抑えるかが大事」と話したように、阪南大は司令塔への警戒が予想される。包囲網 を逆手にとり、副司令官と言える重廣が存在感を発揮すれば、勝機が広がるはずだ。また、「一瞬の隙を 突かれて負ける諸さを克服しないといけない」(阪南大・須佐徹太郎監督)との言葉通り、時間帯による 波も無くしたい。対する大体大の鍵となるのは澤上。慶大戦は無得点に終わったが、坂本総監督は「何 本かシュートを打つことで、相手が『やっぱりコイツは抑えないとイカン』となり、マークを引き付け てくれた」と評価した。この試合でも、阪南大の視線を集め、周囲の得点を引き出したいところ。今季 関西リーグでの対戦成績は、1勝1敗。今回も拮抗した展開が予想される。 (文・森田将義)

早稲田大学 vs 国士舘大学

対照的なスコアで2回戦を突破した両チームだが、ともに「初戦 特有の難しさ」に直面した。高知大と対戦した早稲田大は開始早々 から猛攻を受け、古賀聡監督が「いつ失点してもおかしくなかった。 後手を踏んでいた」と振り返る展開に。「リーグ終盤の緊張感は、 今は少し薄れている」と指揮官は認めており、メンタル面でも試合 勘の面でも難しい一戦だったが、16分に先制して試合を優位に進 め、結果的には4点差をつけた。存在感を見せたのは、2得点のFW 宮本拓弥(4年)。しっかりとボールを収め、力強いポストプレーか ら 5 本のシュートを放った。また、FW 山内寛史 (3 年) も 1 得点 「まだまだ 100%ではない」と言いつつ、「早めに代えてもらったし コンディションを上げていかないと」と前を向く。高さのある国土 | 舘大 DF 陣とのマッチアップで、この 2 トップが前線で起点を作れ れば、おのずと主導権を握れるだろう。古賀監督は「相手に速い攻 |撃をさせないような守備の準備をしたいと思う| と展望する。関東 No.1 の堅守をベースに、チャンスを窺っていきたい。

一方の国士舘大は、桃山学院大を相手に開始5分で先制したが、 国士大 その後は球際での競り合いで劣勢に回り、苦戦を強いられた。

細田三二監督は「自分たちの良さが出なかった。簡単に1点目を取れたせいで、どこかに隙が生まれた と振り返る。2 度のリードを追いつかれ、74 分に DF 福田友也(4 年)が決めた PK で 3-2 と勝ち切っ たものの、「勝てて良かった、ということに尽きる」と指揮官が苦笑いする内容だった。とはいえ「カッ プ戦は勢いが大事」。リーグ戦で2敗した早大との対戦に向け、「借りを返さないといけない。モチベー ションを良い方向へ持っていける」と話していた。初戦で露呈した問題は生じないはずだ。関東リーグ 得点王 FW 松本孝平(3年)が1得点を挙げ、アシスト王 MF 荒木翔(2年)も鋭い突破を繰り返すな ど、関東一の攻撃力は今大会も健在。組織力で群を抜く早大守備陣に対し、荒木が個の力で打開してい けば、突破口を見出せるはずだ。背番号9のプレーに注目したい。 (文・内藤悠史)

12月13日(日)11:00 味フィ西



12月13日(日)13:30 味フィ西



明治大学 vs 順天堂大学

昨年度大会ではまさかの初戦敗戦を喫した明治大。それだけに 「初戦は難しい」(栗田大輔監督)と警戒していたが、終わってみ れば 3-0 の快勝。23 分に FW 藤本佳希(4年) が落としたボール を、FW 和泉竜司(4年)が倒れこみながらも押し込んで先制する と、59 分には MF 差波優人の右からのクロスを、MF 瀬川祐輔(4 年)が鮮やかなダイレクトボレーで突き刺し追加点。さらに 77 分 にも藤本が PK を獲得し、これを DF 山越康平 (4年) が決めて中 京大を突き刺した。「個とフィジカルの部分で明大が有利というの はわかっていた」(栗田監督)というものの、それだけに頼ること なく各ポジションが連動。縦のラインの細かいミスも試合中に修正 するなどチームとしての熟成度の高さとを見せつけた。

その明大とベスト4を賭けて対戦するのは、同じ関東代表の順天 堂大。2 回戦の福岡大戦では、23 分に FW 佐野翼 (3 年) が獲得し た PK を FW 長谷川竜也 (4年) が決めて先制。後半の 67 分にも、 佐野が長谷川からのクロスを頭で合わせて2点を先取。終了間際に 1点を返されたものの、きっちりと勝利を収めた。関東リーグと1 回戦の後半にはボランチに配置していた長谷川を、この試合では前

1服部 明大 3 山越 5 小出 14 早坂 6 髙橋 16 柴戸 7 差波 17 土居 9瀬川 11 藤本 10 和泉 9 佐野 27 杉田 11 米田 10 長谷川 24 室伏 15 船木 3 吉永 13 宮本 4 矢部

30 今川

順大

12月13日(日)11:00 町田

線で起用。「相手が竜也を怖がっているのはわかっている。それを利用するなら前に置いたほうがいい」 (堀池巧監督) との判断が効いた。加えて、監督就任時から目指してきたパスサッカーが本大会にきて |結実してきた感はあるが、「今日のような相手であれば、もっと背後を狙えた。ボールをつなぐだけでは なく、切り替えの部分からゴールを狙えるようにならないと」(堀池監督)との課題も。

順大の堀池監督が「明大は唯一リーグ戦で2敗している相手。特に開幕戦で2度リードしながら逆転 |負けしたことは忘れられない| と雪辱を誓えば、明大・栗田監督も「今の順大の強さはリーグ戦とは質 が違うが、3連勝したい」と応える。互いによく知る相手との関東対決。ともに攻撃陣が好調とあって、 いかにゴール直結するラストパスを防げるかが鍵となりそうだ。

流通経済大学 vs 関西学院大学

12月13日(日)13:30 町田

夏の総理大臣杯を制し、全国 2 冠を目指す関西学院大は 2 回戦 で札幌大と対戦。試合は、開始早々の4分にMF出岡大輝(4年)が 先制点を奪うも、その 1 分後には札幌大に同点弾を決められるな ど、両者譲らない立ち上がりとなった。しかし関学大は多彩で圧倒 的な攻撃力を見せつけ、18分に出岡、そして24分にはG大阪内 定の FW 呉屋大翔 (4年) が追加点を奪い、前半を 3-1 で折り返す。 14 渡邉 試合終盤には札幌大に 1 点を許すものの、ボールを失った瞬間か らプレッシングをかけ、すぐに奪い返す守備を徹底した関学大が逃 げ切った。昨年度のインカレ決勝戦では、流通経済大に0-1で敗れ て準優勝に終わった関学大。「今年のチームは昨年のインカレ決勝 で敗れた悔しさからスタートしている」(成山一郎監督)という関 学大にとって、準々決勝の流経大戦は 1 年間をかけたリベンジの 舞台だ。昨年対戦した2試合では無得点に終わっているだけに、「守 備には自信がある」(中野雄二監督)という流経大の守備を、呉屋 を中心とした攻撃陣がいかに崩すかポイントとなる。

昨年度インカレの覇者である流通経済大は、2回戦で北陸大と

対戦。「準々決勝で対戦するだろう関学大戦を見据えて、初戦はメンバーを少し変える」(中野監督)と の予告どおり、フレッシュなメンバーで臨んだ流経大だったが、前半は北陸大に主導権を握られたうえ 先制点を許すなど苦しい展開に。後半に入ってボールを持つ時間が多くなると、63分に長崎内定の FW 中村慶太(4年)のゴールで追いつき、77分には途中交代のFW星野秀平(2年)が逆転弾を決めるが、試 合終了間際に再び失点して勝負は延長戦へ。迎えた延長後半10分に MF 森保圭悟(4年)の鮮やかな直接 FK がゴールに吸い込まれ、苦しみながらも覇者・流経大が 2 回戦を突破した。準々決勝では、攻撃力 のある関学大相手に、持ち味である固い守備をいかに見せつけられるか。「今年はまだ一つもタイトルを 獲れていない。最後は監督を胴上げしたい」(中村)という流経大が、昨年度王者のプライドを胸に夏の 王者・関学大に挑む。 (文·KUSS)

流経大 21 西岡 34 宮内 5 田上 4 塚川 24 石田 10 古波津 17 米沢 8 西谷 12 倉樫 9 中村 13 呉屋 11 森(俊) 8 小林 9出岡 14 福富 7 徳永 16小川原 28 高尾

3 井筒 15 米原

1上田